



学校通信

我が輩はトラフズク

令和6年7月19日 No.4

弘前市立第三中学校 (文責: 教頭 前田 達哉)

創造・感動・笑顔

1学期末に寄せて

学校生活を通じて生徒の皆さんは成長・変化し、その変化は新たな秩序を求めて集団を萌動させ、その都度、私たちに「成果と課題」を与えてくれました。

生徒の皆さんは学級会・学年委員会で、教職員は職員会議等で「課題」を共有し、得られた「成果」を生かしながら課題解決に取り組んでいきましょう。

保護者の皆さまには、今学期の本校教育活動へのご理解とご支援に感謝いたします。

2学期も、よろしくお祈りします。

校長 小笠原 恭史

*「夏休み」について書きました。

「一人の夏」

陽炎ごしにミドリガメと目があつたことはありますか？桜祭りで買ってすぐに逃げられたミドリガメが、夏のある日、自転車で転んで痛くて起き上がれずいた自分を、陽炎ごしに見ていたことがありました。小学生の夏のことでした。

トンボに誘われ、見知らぬところに行ってしまったことはありますか？禅林にオニヤンマが現れ、ちょうどつかまえられそうな飛び方で自分の前を横切ったので追いかけてました。追うほどに視野が魚眼レンズのようになり、気づくと見知らぬ墓地にいました。不思議に怖い場所へ来てしまったという感覚はなく、今思うと、まるで『千と千尋の神隠し』で千尋が誘われたようなところで突っ立っていました。中学生の夏のことでした。

幼稚な小・中学生時代を送っていたと思われるかもしれません。周りのみんなが大人になっていくことを横目に過ごした「一人の夏」の思い出です。

夏休みに旅行する家族のニュースを羨ましく眺めていたり、“なぜ家は、どこにも連れて行ってくれないんだ”と嘆いたりした夏もありました。そんな夏に色々なことを考えました。親戚の仕事場に行って(手伝って)みる、郷土館に行く、図書館に行く、自転車で2時間直進してみる(1時間進んで、1時間で帰ってくる)、500円で行ける駅の街を探索する、家の前にテントを張ってキャンプをする～恥ずかしくなるくらいバカなことも考えていました。

振り返ってみると、あのとき一人で過ごした時間は以後の自分を支え、今へとつながっています。一人でいたからこそ“心の中の「もう一人の自分」”に気づき、少し自分を客観視できるようになった気がします。何より、一人でいられるようになったことと同時に、一人の寂しさや仲間の大切さにも気づくことができました。

“みんなで集まって楽しく過ごす夏”もいいですが、夏・休みだからこそ、一人の時間も見いだしてみてください。

「一人の夏」という夏の日も大切にしてみてください。

ひろさき記学体験学習

本校では、総合的な学習の時間の一環として、各学年ごとの計画で「ひろさき記学体験学習」を実施しています。当日は天気に恵まれ、どの学年も予定どおりの日程で活動を行うことができました。

1学年は、バスでねぶた村へ移動し、りんご土鈴、下川原焼き鳩笛、祈願木地ダルマの色つけをする体験活動を行いました。その後、弘前公園で昼食をとり、博物館と植物園を見学しました。



2学年は、最初に本校体育館で、りんご土鈴、鳩笛などの色つけをする体験活動を行いました。その後、バスで弘前公園に移動し、弘前観光館の施設見学をしました。昼食を弘前公園でとった後は、学年レクリエーションを行いました。



3年生は、バスで弘前公園に移動し、郷土が誇る「桜」について桜守から講話を聞きました。その後、長平青少年旅行村へ移動し、班ごとに炊事を行いました。事前に班の仲間と話し合っメニューを考え、買い出しなど初めての体験を通じて、仲間との信頼関係を深めることができました。



8月の主な行事予定

(変更になる場合もあります)

1	木		16	金	
2	金		17	土	
3	土		18	日	
4	日		19	月	
5	月	指導部会、第1回中教研2研修会	20	火	校内研修 PTA成人教育「校長と語る会」
6	火	学年部会	21	水	職員会議 特別支援教育運営委員会
7	水		22	木	
8	木	3年学習会⑥、1・2年生出校日	23	金	同窓会総会
9	金		24	土	
10	土		25	日	
11	日	山の日	26	月	2学期始業式、中体連強化週間 8月テスト、3年実力テスト
12	月	振替休日	27	火	あいさつ運動市内一斉取組日 平常①～③、④三中祭りエンターション ⑤⑥三中祭係決め
13	火	学校閉庁日	28	水	短縮①～④、⑤三中祭準備 ⑥避難訓練(水害)
14	水	学校閉庁日	29	木	短縮①～④、⑤⑥三中祭準備 指導部会
15	木	学校閉庁日	30	金	短縮①～④、⑤三中祭準備 学年部会
			31	土	